

登録コード	UAF25500	開講年度	2026			
授業題目	心の健康教育に関する理論と実践				担当教員	茅野 理恵
					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限	
			授業形態	講義		
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学						
【心理・長野臨床以外】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主力的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。					多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主力的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。	
2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学						
【心理・長野臨床】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主力的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。					多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主力的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。	
2 6 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学						
【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。					心理学分野の高度な知識・技能を有する	
【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。					量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。	
【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主力的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。					領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主力的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。	
(2)授業の概要	学校教育における心の健康教育の位置づけ、またその目標・内容等について、心の健康教育に関する様々な実践事例を紹介しながら理解を深める。また、心の健康教育に関する具体的な内容について各自テーマを決め、授業案を作成し実施する。					
(3)授業計画	第1回：心の健康教育の必要性和目標 第2回：学習指導要領における心の健康に関する教育 第3回：心の健康教育を実施する上での留意点 第4・5回：心の健康教育の実践 - 我が国における自殺対策の必要性 第6・7回：心の健康教育の実践 - 若者のためのゲートキーパー養成プログラムの作成 第8・9回：心の健康教育の実践 - ファシリテーションスキルを高める - 第10・11回：心の健康教育の実践 - ゲートキーパー養成講座の実施 - 第12・13回：心の健康教育の実践 - ファシリテーター養成講座の実施 - 第14回：心の健康教育の実践 - セルフマネジメントを高める 最終レポート 最終試験 無					
(4)成績評価の方法	1)以下を総合して判定する。 ・授業への主体的・積極的な関与を確認する「授業実績」「毎回の課題」：50% ・毎回の授業内容の理解度を確認する「振り返りレポート」：25% ・授業のねらいの達成度を確認する「最終レポート」：25%（出席2/3以上の者に提出資格を与える） *評価割合は若干の調整を行うことがある。 2)得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可					
(5)成績評価の基準	レジュメの作成等の授業準備 授業でのプレゼンテーションにおいてわかりやすく情報を伝えることができたか ディスカッションにおいて主体的・積極的に関与したか 自らの問題意識に基づいて課題を検討することができたか 他者の意見を取り入れながら、次への方向性を検討することができたか 以上5つの観点について ～ の5項目を満たし、且つ新たな視点を組み入れつつ検討することができていれば「卓越している」 ～ のうちの5項目を満たしていれば「かなり上にある」 ～ のうちの4項目を満たしていれば、「やや上にある」 ～ のうちの3項目を満たしていれば、「その水準にある」					
(6)事前事後学習の内容	毎回授業の冒頭に、前週の振り返りを行いその理解を確認する演習を行う。それに備えるため、前週の授業内容を復習してから授業に臨むこと。この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(7)履修上の注意	・授業は、受講者が行った課題の発表とそれに基づくディスカッションで展開する。授業にあたっては、前週に出された課題を行うと共に、発表用資料を準備しておくこと。 ・ディスカッションへの積極的な参加を期待する。					

(8)質問,相談への 対応	茅野(理)研究室 (E403) TEL:026-238-4207 e-mail: chinori@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	特に指定はしない
【参考書】	小泉令三 (2011) 社会性と情動の学習の導入と実践 ミネルヴァ書房 小泉令三・山田洋平 (2011) 社会性と情動の学習の進め方 小学校編 ミネルヴァ書房 小泉令三・山田洋平 (2011) 社会性と情動の学習の進め方 中学校編 ミネルヴァ書房 窪田由紀他 (2016) 学校における自殺予防教育のすすめ方 遠見書房 窪田由紀他 (2016) 災害に備える心理教育 今日からはじめる心の減災 ミネルヴァ書房 山崎勝之・戸田有一・渡辺弥生 (2013) 世界の学校予防教育 金子書房 文部科学省 (2017) 小学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説 体育編 東洋館出版社 文部科学省 (2017) 中学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説 保健体育編 東洋館出版社 文部科学省 (2010) 生徒指導提要 教育図書